

血管を読み解く

全身に張り巡らされている血管は、24時間、365日休まず血液を各所へと流しています。その血管が年齢を重ねるごとに疲れてくるのはやむを得ないことです。また、糖尿病や高血圧などの基礎疾患が血管をむしばむこともあるでしょう。それらの悲鳴をいち早くキャッチできるのが、ほかならぬ臨床検査です。

本特集は血管にスポットを当て、それを読み解くのに必要なモダリティー別に執筆をお願いしました。運営面では、血管診療で中心的な役割を担っているバスキュララボの現状と今後の課題について論じていただきました。また、臨床検査技師がさらに資格を取得して活躍している血管診療技師(CVT)について、資格の概要と、認定までに必要なスキルを執筆いただきました。

担当業務の方はもちろん、他のモダリティーなどの担当業務でない方も興味深くご覧いただける内容となっています。本特集が皆さんのスキルアップの一助となれば幸いです。

河合昭人(東京慈恵会医科大学附属病院中央検査部)